

ドクターカー普及、推進募金箱設置のお願い

現在、全国で医療機器搭載のドクターカー約 300 台、消防本部救急車 6,114 台、消防防災ヘリ 76機、民間救命救急センター所属ドクターヘリ 46機、合計約 6,536 (台、機) で平成 26 年度救急出動件数 598 万 4,921 件 (前年度比 6 万 9,238 増) を対応しています。その内、年間約 7 万人の方が病院外での心肺停止が報告され、そのほとんどの方を救えていないのが現状です。

医療機器搭載のドクターカーの普及が大変遅れ、また救命救急対応による医療処置には限界があり、医療機器搭載のドクターカーを早期配備する必要性は緊迫しています。

消防本部救命救急隊と、医療機器搭載のドクターカーで緊急出動する救急専門医、救急専門看護師の連携により、救命率の向上、後遺症の軽減、更に社会復帰率の向上に大きな効果が現れます。しかし医療機器搭載のドクターカーのラピッドタイプは、1 台約 1,400 万円、高規格医療機器搭載モバイル ICU タイプは 1 台約 4,500 万円と高額ですが、皆様とともに医療機器搭載のドクターカーの全国普及推進により、救急現場で病院と同じ初期治療までの時間を半減させ、生存率の向上、後遺症の軽減、更には社会復帰率の向上に貢献できます。

「救える命は救いたい」 この理念を一念と定め、日本ドクターカー協会は、攻める救命救急医療を目指して、医療機器搭載のドクターカーの全国への普及推進に取り組んでいます。

皆様のご協力が、尊い命を救います。

日本ドクターカー協会の目的に皆様のご理解とご支援のほど、よろしくごお願い申し上げます

一般社団法人日本ドクターカー協会
代表理事 呉山和男